



大人は非常食、子どもたちはスーパーボールすくいに夢中!

10月15日、16日、兵庫県主催の秋のおまつり「ふれあいの祭典」の一環「神戸ふれあいフェスティバル」が神戸のメリケンパークで開催されました。

阪神・淡路大震災の被災地である神戸から、東日本大震災の被災地の復興を応援するというメッセージを込められたこのイベントには、2日間で1万人の来場者があ

りました。

当支部では毎年、開催地の地域奉仕団や特殊奉仕団の皆さんと参加し、赤十字のPR活動に努めています。今回は神戸市中央区赤十字奉仕団、神戸市灘区赤十字奉仕団の協力のもと、非常食（アルファ化米の五目ご飯）の試食や子どもゲームコーナー、AED体験等で、来場者とふれあい、赤十字を身近なものに感じていただきました。

また、東日本大震災の活動をまとめたパネルや、被災者への救援物資である圧縮毛布や緊急セット、安眠セットの展示を行い、災害時の救護活動を紹介しました。

非常食の試食はどこで行っても大人気で、小さな子供さんから年配の方まで好評を得ています。お米の説明をすると関心もグッと高まり、我が家の非常用にとと思われる方もいらっしゃいます。

多くの皆さんに赤十字の活動を知っていただくため、地域で開催されるイベント等の場をお借りしてPRしていくことも、積極的に続けてまいります。

ポスター
結果発表

赤十字活動推進ポスターコンクール

~ぼくに、わたしにできること、みんなの力になれること~

今年の夏休みも、県内の小・中・高等学校の児童、生徒を対象に、「赤十字活動推進ポスターコンクール」を実施。審査会が10月11日に行われました。

赤十字といえば「病院」「献血」のイメージから、「災害救護」「国際活動」など、子供たちが描く赤十字の表現の範囲が広がってきました。

今回のテーマは、「ぼくに、わたしにできること、みんなの力になれること」で、このテーマから、赤十字がすること、自分にもできることを考えて、子供たちが絵にしました。

今年はテレビや新聞で東日本大震災での赤十字の活動が広く取り上げられたこともあってか、救護服姿の赤十字職員の絵も多く見られました。ホームページなどを利用して様々な角度から、赤十字の活動を一生懸命調べて描いたことが感じとれる作品が集まりました。

応募総数41校202作品。小学校19校58作品、中学校15校96作品、高校5校39作品、特別支援学校2校9作品。

最優秀作品に選ばれた兵庫県立姫路視聴覚特別支援学校高等部3年生の長谷川沙英さんの作品は、審査員全員をうならせる、力強くしっかりと赤十字を表現する作品でした。ほか、優秀賞4点、特選13点、入選15点、佳作16点が選出されました。

最優秀賞、優秀賞受賞者には、11月22日に開催される兵庫県日赤有効章等贈呈式で、表彰状の贈呈が行われます。

また、入賞作品の展示は、兵庫県支部ホームページでお知らせしますので、お近くで開催された際には、ぜひともお越しください。



最優秀賞の
長谷川沙英さんの作品

ひょうごの 赤十字



Contents

特集

地域赤十字奉仕団の災害救護実践研修訓練

- 兵庫県日赤有功会の旅行
- 兵庫県日赤有功会の青少年育成活動支援
- みんなで赤十字のPR! ~神戸ふれあいフェスティバル~
- 赤十字活動推進ポスターコンクール
- 講習のご案内

 **日本赤十字社 兵庫県支部**
Japanese Red Cross Society
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5
tel. 078-241-9889 fax.078-241-6990
URL <http://www.hyogo.jrc.or.jp/>



講習のご案内 ~健康で安全な生活を送る知識と技術を~

日本赤十字社では、ケガや病気、災害から自分自身を守り、けがや病気の方を正しく救助し、救急隊員等へ引き継ぐまでの正しい知識、技術を学ぶ講習会を開催しています。

小さい子どもに起きやすい事故や病気、お年寄りが健康で安全に暮らすために皆が知っておきたいこと、健康で安全な生活をおくるための基礎知識です。どうぞお気軽に受けてみてください。

内容	開催日
救急法基礎講習	平成24年1月7日(土)
救急法救急員養成講習(2日間)	平成24年2月18日(土)・19日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(3日間)	12月17日(土)・18日(日)・23日(金・祝)
	平成24年1月8日(日)・9日(月・祝)・14日(土)
平成24年2月4日(土)・5日(日)・11日(土)	
幼児安全法支援員養成講習(3日間)	平成24年1月21日(土)・22日(日)・28日(土)
健康生活支援講習支援員養成講習(3日間)	平成24年2月14日(火)・21日(火)・28日(火)

- 開催場所は、いずれも日本赤十字社兵庫県支部です。



パソコンから

詳細及びその他の講習についてはホームページで

赤十字 兵庫 検索

www.hyogo.jrc.or.jp



地域赤十字奉仕団の災害救護実践研修訓練

～力を合わせて、地域のため、被災者のために行動できるように～

地域赤十字奉仕団では、災害への備えや災害時の活動に必要な技術や知識の習得などを目的に各地で災害救護実践研修訓練を実施しています。

10月には3つの地域の赤十字奉仕団が訓練を実施しました。

+ 西脇市赤十字奉仕団

9月27日、西脇市総合福祉センター「萩ヶ瀬会館」で、災害救護実践研修訓練が開催され、西脇市赤十字奉仕団の27名が参加しました。

万一の災害に備えた奉仕団員の防災意識の向上と、地域で連携して災害救護活動を行えるよう、一日しっかりと研修に取り組みました。

ワンタッチテントの設営訓練は皆で息を合わせて行いました。また、災害時に救護所等で大人数のための食事を作ることが可能な災害用移動炊飯器を設置し、途中で火が消えてしまわないように風向きなどに気を配りながら、炊出し訓練を行いました。

昼食も訓練の一環で、非常食のアルファ化米を食べ、被災者の立場になり、その気持ちを考えてみました。

午後は、赤十字業務無線での通信訓練を行いました。普段当たり前前に使用している携帯電話や固定電話が使えなくなったら……そのときの情報伝達方法はどうしたら



大きな炊飯器は力を合わせて設営からです。

よいかなど、災害時の備えについてあらためて考える機会となりました。

+ 姫路市赤十字奉仕団



三角巾の包帯法は、扱い慣れるまでが大変です。

10月5日、「イーグレ姫路」で姫路市赤十字奉仕団災害実践研修訓練を実施しました。

有馬委員長をはじめ、約170人の団員が参加。

姫路市は、9月に立て続けに近畿地方を襲った台風12

号、15号の大雨により、床上浸水など多くの住家被害を受けました。

3年に1回行われているこの研修訓練も、東日本大震災や台風で、今年はさらに気合の入ったものとなりました。

炊出し、心肺蘇生法とAED、三角巾での傷の手当て、搬送と4つの訓練を班に分かれ、支部、姫路赤十字病院、姫路赤十字看護専門学校職員の指導により、それぞれの班で技術を習得しました。

その後、各班の代表者の発表。参加者全員の見守る中「こんなみんなの前で緊張するわ」と、言いつつも、練習の成果以上のものをしっかりと見せつけ、皆さんさすがと思わせてくれました。

緊張の発表会のあとは、避難所での支援という設定で炊出し班が腕を奮った「芋煮汁」とアルファ化米の五目ご飯を皆で美味しくいただきました。

いつ降りかかるかわからない災害に向け、今後も地域で連携して活動できるよう、気持ちの引き締まる訓練となりました。

+ 香美町赤十字奉仕団

10月10日には、香美町地域活性センター「小代物産館」で、香美町赤十字奉仕団52人が参加し、災害救護実践研修訓練が行われました。

奉仕団委員長や香美町分区長から「災害に備えるためにもしっかりと取り組んでいきましょう。」との挨拶の後、早速、訓練がはじまりました。

訓練当日は、幸い天候にも恵まれ、最初に「手軽なテントを立てよう」をテーマに、屋外でワンタッチテントの設営訓練が行われましたが、さすが奉仕団の皆さん、あっという間に設営方法を習得し、補助なしでテントを設営されていました。その後は、大型炊き出し器（災害用移動炊飯器）を使った炊き出し体験訓練や、無線通信訓練などを行いました。

午後からは、応急手当訓練です。バンティストッキングを応用包帯として使ったこの訓練では、奉仕団の皆さんが2人1組となり“頭をけがしたとき”“手をけがしたとき”“胸や肩をけがしたとき”など、さまざまな場面を想定し、交代で

手当の方法を楽しく試されていました。

奉仕団の皆さんからは、「包帯として使えるなんて意外でした。自宅に帰っても試してみたい。」など感想を話されていました。



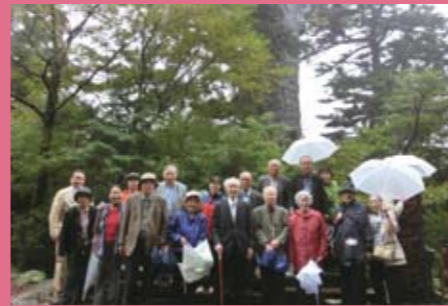
包帯代わりのストッキングに驚き！

兵庫県
日赤有功会①



兵庫県日赤有功会の旅行

～親睦を深めるために『指宿温泉と屋久島を巡る旅』～



推定樹齢3000年の紀元杉の前で記念撮影。

兵庫県日赤有功会は、10月18日から20日までの2泊3日で親睦旅行を行いました。

初日は3月に全線開通した九州新幹線を利用して鹿児島へ。知覧武家屋敷の町並みを散策の後、特攻平和記念館を見学。平和の大切さを感じるとともに、指宿温泉で骨休めです。

翌日は屋久島で世界遺産登録地域の西部林道をドライブ。ガイドの方から、「この森の感想を聞くと『うちの裏山と同じだ』と言う方がいるが、それが正解。人間の経済活動で伐採され、どんどん消えていった照葉樹の森がこれだけ手付かずに残っているということも世界遺産登録の評価のひとつです」との説明を受け、大いに納得しました。

最終日はバスで標高1,000mまで登り、今回の最大の目的地である屋久杉の森の散策。ここだけは雨に遭いましたが、これは「屋久島では月に35日降る雨」と言われるこの島の洗礼。そんな雨など苦にもならない、幻想的で素晴らしい森でした。

総勢17人と少人数でしたが、参加者同士はとても親密な時間を持つことができ、本当に楽しい旅となりました。

兵庫県
日赤有功会②



兵庫県日赤有功会の青少年育成活動支援

～青少年赤十字メンバーへ「青少年赤十字Tシャツ」～

兵庫県日赤有功会は青少年育成支援として、自主自発性等の学習を通じてリーダーを養成する「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」に参加する青少年赤十字メンバーに、ユニフォームとなるマーク入りのTシャツを贈呈しています。

トレーニング・センターの中で、参加者全員がお揃いのTシャツを着て学習などを行うことで、同じ青少年赤十字の仲間としての自覚をさらに深められることでしょう。



有功会からの青少年赤十字Tシャツ



トレーニング・センターではみんなのユニフォームとなります。